

【条例 要綱 等】

○丹波篠山市あいさつ運動市民委員会設置要綱

平成26年3月28日

要綱第5号

(設置)

第1条 あいさつを通じて市民による「人権を尊重したあたたかいまちづくり」を推進するため、丹波篠山市あいさつ運動市民委員会（以下「市民委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 市民委員会は、次の事項について協議する。

- (1) あいさつ運動の現状の把握及び課題の整理に関する事。
- (2) あいさつ運動を推進するための各機関との連携方策に関する事。
- (3) あいさつ運動の啓発に関する事。
- (4) その他必要な事項

(組織)

第3条 市民委員会は、委員21人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 自治会長会又はまちづくり協議会等地域団体関係者
- (2) 市立学校代表者等学校関係者
- (3) 青少年団体又は社会教育関係者
- (4) 商工会等事業所関係者
- (5) 民生委員協議会等福祉団体関係者
- (6) 人権擁護委員協議会等人権団体関係者
- (7) 公募に応募した者

3 市民委員会に、会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

4 会長は、会議を総理し、市民委員会を代表する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 市民委員会の会議は、会長が招集する。

2 市民委員会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会長は、会議の議長となる。

4 会議の議事は、出席委員の過半数で決定し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(庶務)

第6条 市民委員会の庶務は、市民生活部において処理する。

(補則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

○丹波篠山市人権尊重のあたたかいまちづくり条例

平成24年12月21日

条例第36号

世界人権宣言において、「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。」とされ、また、日本国憲法においても、「基本的人権は、侵すことのできない永久の権利」として守られています。

丹波篠山市は、「市民憲章」及び「丹波篠山市自治基本条例」に基づき、人権を尊重し擁護することを推進しています。

また、これまで多くの人々の努力により、人権を大切にすまちづくりに向けた取り組みが行われてきました。

しかし、現状をみると、さまざまな人権課題が存在していることも事実です。さらに、社会状況等の変化により、新たな人権問題が生じています。

これからは、市民が自分の人権だけでなく、他人の人権についても深く考え、さらに学び続け、責任のある行動をとることが求められます。

私たちは、命の尊厳や人権が尊重され、すべての人が幸せを実感できるあたたかいまちをつくりあげるため、この条例を制定します。

(目的)

第1条 この条例は、あらゆる人権に関する課題解決に向けた取り組みを推進し、人権を尊重したあたたかいまちの実現に寄与することを目的とする。

(基本理念)

第2条 市及び市民（丹波篠山市自治基本条例（平成18年篠山市条例第32号）第2条第1号に規定する市民をいう。以下同じ。）は、次条又は第4条に規定する責務を果たしながら、協働して人権尊重のあたたかいまちづくりを推進する。

(市の責務)

第3条 市は、市民一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指し、人権教育、人権啓発等の人権尊重に関する施策（以下「人権施策」という。）を推進するものとする。

2 市政に携わる全ての者は、この条例の理念を理解し行動しなければならない。

(市民の責務)

第4条 市民は、社会の構成員としての責務を自覚し、互いの人権を尊重しなければならない。

2 市民は、自らが人権尊重のあたたかいまちづくりの担い手として、人権意識の向上に努めなければならない。

(人権施策の推進)

第5条 市は、本条例の目的及び理念に基づき、次に掲げる事項について施策を推進する。

- (1) 同和問題、性別、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人住民、虐待、いじめ等全ての人権課題の解決を図るために必要な事項
- (2) 人権に関する意識の高揚
- (3) 人権に関する相談及び支援体制
- (4) 人権に関する調査及び研究
- (5) 前各号に掲げるもののほか、人権施策を推進するために必要な事項

2 市は、前項の人権施策の推進にあたり、地域で培われてきたきずなを大切に、日常生活で互いの心をつなぎ相手を認め合う挨拶の推進を図りながら取り組むものとする。

(審議会の設置)

第6条 前条の人権施策を審議するため、市長の附属機関として、丹波篠山市人権尊重のあたたかいまちづくり審議会（以下「審議会」という。）を置く。

- 2 審議会は、人権尊重のあたたかいまちづくりに関する施策について調査審議し、市長に意見を述べることができる。
- 3 審議会は、15人以内で組織する。
- 4 委員は、公募市民、学識経験者及び市長が適当と認める者の中から市長が委嘱する。
- 5 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 6 前各項に定めるもののほか、審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(委任)

第7条 この条例の施行に関して必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成25年1月1日から施行する。

(篠山市人権施策推進審議会条例の廃止)

- 2 篠山市人権施策推進審議会条例（平成15年篠山市条例第14号）は、廃止する。

(篠山市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

- 3 篠山市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例（平成11年篠山市条例第46号）の一部を次のように改正する。

○丹波篠山市あいさつ運動推進事業補助金交付要綱

平成26年3月28日

要綱第6号

改正 平成29年3月28日要綱第20号

改正 令和3年3月31日要綱第15号

(目的)

第1条 この要綱は、あいさつ運動を実施する団体に対し、あいさつ運動の実施又は啓発に必要な資材の購入に要する経費を補助することにより、あいさつ運動の促進を図り、もって、人権を尊重したあたたかいまちづくりの推進に寄与することを目的とする。

(定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 団体 自治会、まちづくり協議会、見守り活動団体その他一定の地縁に基づくコミュニティを基盤とする団体及びその他の団体をいう。
- (2) 資材 ノボリ、ベスト、タスキ、帽子、腕章、懸垂幕等あいさつ運動の実施又は啓発に必要な資材をいう。
- (3) あいさつ運動 駅、商店、市立学校・園その他公の施設において複数人による声かけ、見守り活動等その他の啓発活動を行うことをいう。

(補助金交付対象団体)

第3条 補助金の交付は、あいさつ運動を自ら実施し、次の各号の要件を備え、市長が適当と認めた団体に対し、補助金を交付するものとする。

- (1) 団体の既存の取組に加え、あいさつ運動の目的を理解し、標語（「あいさつ運動実施中」）等を資材に記載し、活用する団体であること。
- (2) 団体として月2日以上定期的にあいさつ運動を実施するものであること。

(補助金の額)

第4条 補助金の額は、資材の購入に要する経費の全額（ただし、自治会、まちづくり協議会、見守り活動団体その他一定の地縁に基づくコミュニティを基盤とする団体は、上限3万円としその他の団体は、上限1万5千円とする。）とし、予算の範囲内で交付する。

(交付の申請)

第5条 補助金の交付を受けようとする団体は、あいさつ運動推進事業補助金交付申請書（様式第1号）に資材販売業者が発行した見積書を添えて、市長に提出しなければならない。

(交付の決定)

第6条 市長は、前条の申請書を受理したときは、内容を審査の上、補助金の交付を決定し、あいさつ運動推進事業補助金交付決定通知書（様式第2号）により当該申請をした団体に通知するものとする。

（実績報告）

第7条 補助金の交付を受けた団体は、当該年度の3月31日までに、あいさつ運動推進事業補助金実績報告書（様式第3号）に次に掲げる書類を添えて、市長に提出しなければならない。

- (1) 経費の支払を証する書類（領収書等）の写し
- (2) 資材を活用したあいさつ運動の写真
- (3) その他市長が認めるもの

（補助金の請求）

第8条 補助金の交付決定を受けた団体は、前条の規定により実績報告書を提出し、市長の審査を受けた後、あいさつ運動推進事業補助金交付請求書（様式第4号）を市長に提出しなければならない。

2 市長は、前項の規定による適正な補助金の請求があったときは、速やかに補助金を交付するものとする。

（交付決定の取消等）

第9条 市長は、補助金の交付を受けた団体が次のいずれかに該当するときは、補助金の交付決定を取り消し、あいさつ運動補助金交付決定取消通知書（様式第5号）により通知するものとする。

- (1) 虚偽の申請その他不正な手段により補助金の交付を受けたとき。
- (2) その他市長がこの要綱により交付する補助金の目的を達成することができないと認めたとき。

2 市長は、前項の規定により補助金の交付を取り消した場合において、既に交付した補助金の全部又は一部を返還させることができるものとする。

（その他）

第10条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成29年3月28日要綱第20号）

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（令和3年3月31日要綱第15号）

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

様式第1号(第5条関係)

あいさつ運動推進事業補助金交付申請書

年 月 日

丹波篠山市長 様

住所又は所在地

団体名

代表者名

印

年度あいさつ運動推進資材を下記のとおり購入したいので、補助金を交付願いたく、丹波篠山市あいさつ運動推進事業補助金交付要綱第5条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

団体の区分 及び構成員	団体の区分 () 構成員 () 人
実施内容	
実施予定日	
実施場所	

購入資材	個数	単価	合計額	補助申請額
		円	円	/
		円	円	
		円	円	
合 計		円	円	

◎添付書類には、販売業者が発行した見積書の写しを添えてください。

◎補助申請額は、自治会、まちづくり協議会、見守り活動団体その他一定の地縁に基づくコミュニティを基盤とする団体は、上限30,000円としその他の団体は、上限15,000円としてください。

様式第3号（第7条関係）

あいさつ運動推進事業補助金実績報告書

年 月 日

丹波篠山市長 様

住 所
氏 名 印

年 月 日付け 第 号で交付決定のあったあいさつ運動推進事業補助金について、補助事業が完了したので、あいさつ運動推進事業補助金交付要綱第7条の規定により、次のとおり報告します。

交付金額	円
完了年月日	年 月 日完了
実施内容	
実施日	
実施場所	
添付書類等	(1)経費の支払を証する書類（領収書等）の写し (2)資材を活用したあいさつ運動の写真 (3)その他市長が認めるもの

様式第4号（第8条関係）

あいさつ運動推進事業補助金請求書

年 月 日

丹波篠山市長 様

住所又は所在地

団体名

代表者名

印

年 月 日付け 第 号で交付決定がありましたあいさつ運動推進事業補助金について、下記のとおり請求します。

記

金 _____ 円

ただし、 年度あいさつ運動推進事業補助金

補助金交付決定額 円

既受領額 円

今回請求額 円

振込先

振込金融機関名	
振込口座番号	
口座名義人	

◆令和4年度 施政方針 抜粋

2-2 すべての人が尊重され、生き生きと暮らせるまちづくり

【福祉・健康】

1 福祉・人権

(3) 人権

②あいさつ運動

あいさつは、人と人、地域でのつながりをつくる大切な行為であり、お互いを気にかけて、気遣うことができるような地域社会をめざす、人権が尊重されるまちづくりの基本です。

丹波篠山市では、平成25年度から、毎月1日、11日、21日を「いいあいさつの日」と定め、あいさつ運動が市内全体に展開されるよう取り組んでいます。あいさつ運動に取り組む地域団体に対して啓発グッズなどを購入する際の補助を行っていますが、令和3年度からは、自治会やまちづくり協議会だけでなく、団体に属さない少人数のグループの方々にも、補助を行い、運動のすそ野を広げています。

また、春と冬には「あいさつ運動強化週間」を設けて、学校、まちづくり協議会等各種団体、市内起業とも連携しながら、学校、商業施設等であいさつ運動を進めています。また、市内の小中学生を対象に「あいさつ啓発ポスター」の募集を行い、意識啓発を図っています。令和4年度は、これらの事業を継続しつつ、市内全域にあいさつ運動の気運を高めていきます。

2-5 市民と行政が手をたずさえて取り組むまちづくり

【行財政運営】

2 行財政運営

(2) 市役所、職員

①明るいあいさつと対応

朝礼等でのあいさつの唱和、あいさつ運動強化週間などによる啓発とともに、接遇実践目標「いつも心に接遇を」を全職員で共有し、職員の接遇向上を図っていきます。

□接遇実践目標 「いつも心に接遇を」

○まず立つ まず出る すぐあいさつ

○その電話 姿はなくても 笑顔で対応

○目くばり 気くばり 耳くばり

○寄り添う心で おもてなし

○整えて！あなたのココロと身だしなみ

◆令和4年度 丹波篠山の教育 抜粋

生きる力を培い創造性を伸ばす教育の推進

2-2 豊かな心の育成

道徳教育、人権教育、情報モラルの育成、ふるさと教育等の充実を図ることにより、人間形成の基盤となる豊かな情操と道徳性を培い、子どもたちが主体的に判断し、適切に行動する力を育成する。

(11) あいさつの実践 継続

目的・目標

日頃からあいさつが交わせる、明るく温かいまちづくり、学校づくりをめざします。

成果指標

近所の人に会ったときは、自分からあいさつをするという児童生徒の割合が90%以上になること。

あいさつは、丹波篠山市を挙げて取り組む人権施策の大きな柱であり、学校・家庭・地域が連携した啓発・実践活動に継続して取り組みます。

◆丹波篠山市教育大綱（令和元年12月13日策定） 抜粋

理念 しあわせ多き、ふるさと丹波篠山を担う

重点7項目

この大綱は、丹波篠山市が取り組む教育施策の基本方針を示したものです。

重点施策として、以下の7項目を掲げます。

1. ふるさと教育
2. 子ども・子育て支援の充実
3. 地域とともにある学校
4. 学力の確立と向上
5. スポーツに親しむ
6. 丹波篠山ならではの文化を育む

7 あいさつの励行

丹波篠山市では、人権意識やコミュニケーションを高めるため、市民全体でのあいさつ運動に取り組んでいます。地域や学校にも浸透し、「おはよう」「こんにちは」などの元気な声が飛び交うようになりました。この取り組みを継続することで、市民意識の向上とまちの活性化につなげます。

□「あいさつ運動」啓発事業について

1 施策の目的

丹波篠山市における人権を尊重したあたたかいまちづくりを推進するため、家庭や学校、地域や職場等において、相手を認め合うあいさつ運動の推進に取り組みます。

その目的は、「一人ひとりが大切にされ、地域コミュニティが充実した面識のある地域社会を形成する」ことにあります。

「地域住民がお互いを知っている。一人ひとりを大切に思い理解し合っている」社会を“面識社会”と言い、地域の連帯を深める“あいさつ運動”が、青少年の健全育成だけでなく、防災や災害時の減災、子どもの安全、地域の防犯にも効果的であると言われています。

あらゆる場面においてコミュニケーションの基本はあいさつから始まることから、市民あがてのあいさつ運動に取り組むことで、全ての市民が元気で明るい毎日を過ごせる安心・安全なあたたかいまちづくりを展開していきます。

2 事業の概要

(1) 現 状

小中、特別支援学校では、毎朝校門において地域とも連携しながら、あいさつ運動に取り組んでいます。また、保育園・幼稚園においても同様に実施しており、幼少期からあいさつを交わすことによる心の通い合いを、あいさつ運動を通じて理解しています。

また、平成24年度住民学習の共通テーマに「あいさつ」を取り上げ、地域づくりにおけるあいさつの大切さを近隣住民とともに学び合い、一定の理解が広まっています。

さらに、平成25年度からは、毎月1日、11日、21日を「いいあいさつの日」と定め、市職員が「啓発のぼり」を持参し、駅・商業施設・各小中、特別支援学校の街頭において啓発に取り組んでいます。

平成26年度からは、あいさつ運動推進事業補助金交付要綱を制定しました。啓発に有効な対策を講じる団体（校区、自治会等）に対し、運動に要する用品等の購入補助制度を設け、地域における運動の推進を支援しています。また、あいさつ運動市民委員会を発足させ、各種団体、各分野から幅広い提案をいただき、地域の盛り上がりによるあいさつ運動の展開をめざしています。市民委員会の提案により、市内高等学校へ啓発看板を設置し、あいさつ運動の啓発推進を図っています。

平成27年度は、人権尊重のあたたかいまちづくりの一環として地域要望によりあいさつ運動啓発看板を設置。市内各種イベントにおいてもあいさつ運動が実施されました。



そして、28年度からは、春と冬にあいさつ週間を設け、自治会、まちづくり協議会、老人クラブやPTAなどへ参加のよびかけを行い、多くの団体に参加していただいています。

平成29年度は、それまでのあいさつ運動を継続して実施すると共に、新たに、小学生を対象に「おはようカード」に取り組みました。

また、子どもたちだけでなく、親の世代も積極的にあいさつ運動に加わっていただくために、あいさつ運動参加事業所を公募し、応募事業所には「あいさつ運動啓発グッズ（啓発プレート）」を配布することで、事業所の方々やそのお客様などが一体となるあいさつ運動の取り組みを行いました。

令和元年度はあいさつ運動啓発横断幕・懸垂幕を作成し、冬のあいさつ運動強化週間に合わせて市役所第2庁舎および各支所において掲示し、啓発しました。

また、市名変更に伴い、あいさつ運動参加事業所に「丹波篠山市」にデザインを変えた「あいさつ運動啓発プレート」を配布しました。

令和3年度は、資材購入における補助金制度の対象を拡大し、2人以上の小グループで活動されている方にも上限15,000円を限度として、補助対象としています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「いいあいさつの日」や「あいさつ強化週間」等の街頭あいさつ運動の取り組みが中止となる小学校中学校がありました。あいさつ運動の啓発のため、引き続き同様の取り組みを実施しています。

(2) 課題

すべての人が幸せを実感できるあたたかいまちをつくるため、お互いの関係が希薄であるがゆえに家族や地域、職場で起こる身近な人権問題に対して、傍観するのではなく、主体的に行動することが大切であり、その一つの手法としてあいさつ運動が、市内の学校や各種団体、事業所、市役所などで進められています。

このあいさつ運動の取り組みが、さらに市民のみなさんの日常生活に浸透し、市民一人一人が積極的に取り組む運動となるよう、引き続き推進方法の検討を行い、効果的かつ継続的に事業を実施していく必要があります。



西紀北小学校

城南小学校

□令和3年度「あいさつ運動」啓発事業について

1 いいあいさつの日

毎月1日、11日、21日を「いいあいさつの日」として、市内小、中、特別支援学校及び商業施設11か所で実施(2/22現在)

(新型コロナウイルス感染防止対策等のため中止…篠山中学校、古市小学校、味間小学校、サンセブン、ザ・ビッグ篠山店、丹南中学校、岡野小学校)

2 あいさつ運動強化週間

春 令和3年5月10日(月)～16日(日)

街頭あいさつ運動は中止

市役所職員の取り組みは実施 ※報告済

冬 令和3年12月6日(月)～12月12日(日) 資P1～4

3 おはようカード

対象：市内小学校及び特別支援学校小学部の児童

時期：春の強化週間にあわせて実施 ※ 報告済

4 あいさつ運動啓発ポスター

募集：夏休みの課題の一つとして学校を通じ募集

対象：小中学生

入賞：部門毎(小学1年生～3年生の部、小学4年生～6年生の部、中学生の部)に優秀作品を選考し、第20回人権フェスタ in 丹波篠山メインイベントにおいて市長より表彰、記念品贈呈。

5 あいさつ運動市民委員会(9月3日・3月4日)

各種団体、各分野から幅広い提案をいただき、地域の盛り上がりによるあいさつ運動の展開をめざします。

6 補助金 条P6～10、資P25

【予算】30,000円×8団体
+15,000円×4団体

【令和3年度実績】3団体
まちづくり協議会(1)・~~学校(1)~~・PTA(1)

7 報道・周知

- ・広報丹波篠山4月号8月号 資P5.6
- ・市ホームページ(城南小学校あいさつ運動、西紀北小学校あいさつ運動) 資P7.8
- ・市ホームページ(冬のあいさつ運動) 資P9.10
- ・市ホームページ(あいさつ運動啓発ポスターの展示) 資P11
- ・市ホームページ(いいあいさつの日、補助金) 資P12.13
- ・広報丹波篠山12月号 資P14
- ・丹波新聞12月5日発行(あいさつポスター入賞) 資P15

□令和4年度「あいさつ運動」啓発事業について

1 いいあいさつの日 桃色チラシ

毎月1日、11日、21日を「いいあいさつの日」として実施。

2 強化週間 緑色チラシ

春 令和4年5月9日(月)～15日(日)

冬 令和4年11月28日(月)～12月4日(日)

3 おはようカード

対象：市内小学校及び特別支援学校小学部の児童

時期：

4 あいさつ運動啓発ポスター

募集：夏休みの課題の一つとして学校を通じ募集

対象：小中学生

入賞：部門毎(小学1年生～3年生の部、小学4年生～6年生の部、中学生の部)に優秀作品を選考し、第20回人権フェスタ in 丹波篠山メインイベントにおいて市長より表彰、記念品贈呈。

5 あいさつ運動市民委員会(年2回)

各種団体、各分野から幅広い提案をいただき、地域の盛り上がりによるあいさつ運動の展開をめざします。

○委員数：15名(自治会長会、まち協、PTA、青少協、…、公募委員等)

6 補助金 薄茶色チラシ・条 P6～10

地域へあいさつ運動を広めるため、効果的な利活用に努める。

令和3年度から、補助対象を少人数のグループにも広げ、地域団体に属さず少人数のグループで地域の子ども達への見守り活動やあいさつ運動に取り組まれている方にも、補助を行い、運動の裾野を広げています。

